

議会運営委員会の概要

1 議事日程第1号について

- ・議事調査課長から、別紙「会議順序表」により本日の日程について説明があり、了承された。

2 その他

(1) 欠席届について

- ・議事調査課長から、安孫子人事委員会委員長が弁護士業務のため本日の本会議を欠席し、廣居委員が代理出席するとの届け出があった旨の報告があり、了承された。

(2) ハワイ山形県人会設立50周年記念祝賀会への参加について

- ・志田議長から、議長が参加したハワイ山形県人会設立50周年記念祝賀会等の概要について報告があった。

(3) 山形県議会情報公開審査会委員の選任について

- ・事務局次長から、別紙「山形県議会情報公開審査会委員名簿（案）」により説明があり引き続き委員として委嘱することが了承された。

(4) 府省との意見交換会の開催計画（案）について

- ・政策調査室長から、別紙「平成30年度第2回府省との意見交換会開催計画（案）」のとおり開催したい旨説明があり、了承された。

(5) 「平成31年度県政運営の基本的考え方（案）」について

- ・企画振興部長から、別紙「平成31年度県政運営の基本的考え方（案）」についてにより説明があり、了承された。

3 次回議運開催日時

9月26日（水） 午前10時

4 本日の開議時刻

議会運営委員会終了後、直ちに開議することが決定された。

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

平成 30 年 9 月 21 日 (金)

午 前 10 時

- 1 議事日程第 1 号について

- 2 その他

- 3 次回議運開催日時
9 月 26 日 (水) 午前 10 時

- 4 本日の開議時刻

会 議 順 序 表

[議事日程第1号]

平成30年9月21日(金)

| | 会 議 ・ 議 事 順 序 | 採決方法 |
|---|--|------|
| 1 | ○ 議会運営委員会 (議事日程第1号、その他) | |
| 2 | < 開 会 ・ 開 議 > ○ 理事者新任のあいさつ ○ 諸般の報告 (1) 議員派遣の決定 (2) 議案・附属書類等の送付 | |
| 3 | ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 | |
| 4 | ○ 議案上程 (議第119号から議第152号までの34件) ○ 知事説明 < 散 会 > | |

議 事 日 程 (第 1 号)

平成30年9月21日(金) 午前10時開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 議第119号 平成30年度山形県一般会計補正予算 (第2号)
- 第 4 議第120号 平成30年度山形県国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)
- 第 5 議第121号 平成30年度山形県土地取得事業特別会計補正予算 (第1号)
- 第 6 議第122号 平成30年度山形県流域下水道事業特別会計補正予算 (第1号)
- 第 7 議第123号 平成30年度山形県港湾整備事業特別会計補正予算 (第1号)
- 第 8 議第124号 平成30年度山形県電気事業会計補正予算 (第1号)
- 第 9 議第125号 平成30年度山形県工業用水道事業会計補正予算 (第1号)
- 第 10 議第126号 平成30年度山形県病院事業会計補正予算 (第1号)
- 第 11 議第127号 山形県手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 12 議第128号 山形県地方活力向上地域における県税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 13 議第129号 山形県まち・ひと・しごと創生拠点整備基金条例の設定について
- 第 14 議第130号 山形県個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 15 議第131号 医療法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 16 議第132号 山形県主要農作物種子条例の設定について
- 第 17 議第133号 国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 18 議第134号 山形県建築基準条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 19 議第135号 山形県公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 20 議第136号 漁港事業に要する費用の一部負担について
- 第 21 議第137号 かんがい排水事業等に要する費用の一部負担について
- 第 22 議第138号 転作畑対策事業等に要する費用の一部負担について
- 第 23 議第139号 都市計画街路事業に要する費用の一部負担について
- 第 24 議第140号 流域下水道の建設事業に要する費用の一部負担について
- 第 25 議第141号 道路事業に要する費用の一部負担について
- 第 26 議第142号 港湾事業に要する費用の一部負担について
- 第 27 議第143号 急傾斜地崩壊対策事業に要する費用の一部負担について
- 第 28 議第144号 山形県庁舎屋上防水及び外壁等改修工事請負契約の締結について
- 第 29 議第145号 街路整備事業新内橋製作架設工事請負契約の締結について
- 第 30 議第146号 山形県立鶴岡工業高等学校体育館改築 (建築) 工事請負契約の一部変更について
- 第 31 議第147号 パーソナルコンピュータの取得について
- 第 32 議第148号 置賜文化ホールの指定管理者の指定について

- 第 33 議第149号 中山公園の指定管理者の指定について
- 第 34 議第150号 山形県名誉県民の称号を贈られる者の選定について
- 第 35 議第151号 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び同社福島第二原子力発電所の事故に基づき生じた損害賠償の和解のあっせんの申立てについて
- 第 36 議第152号 山形県教育委員会委員の任命について

議員派遣決定一覧表

○平成30年7月6日議決分の変更（下線部が変更部分）

| 番号 | 内 容 |
|-----|--|
| 103 | 山形県黒龍江省友好県省締結25周年記念山形県代表団黒龍江省訪問事業 (3) 期 間 平成30年 <u>8月24日(金)</u> から8月28日(火)まで |
| 105 | 平成30年度北海道・東北六県議会議員研究交流大会 (4) 議 員 名 関徹、柴田正人、 <u>渋間佳寿美</u> 、佐藤聡、能登淳一、 矢吹栄修、佐藤昇、島津良平、加賀正和、森谷仙一郎、 大内理加、 <u>榎津博士</u> 、吉村和武、高橋啓介、小野幸作、 阿部信矢 (派遣議員 17名→ <u>16名</u>) |
| 107 | 山形東高等学校生徒と県議会議員との意見交換会 (4) 議 員 名 松田敏男、 <u>渋間佳寿美</u> 、 <u>小松伸也</u> 、舩山現人、野川政文 (派遣議員 4名→ <u>5名</u>) |
| 109 | 九里学園高等学校生徒と県議会議員との意見交換会 (4) 議 員 名 青木彰榮、菊池文昭、大内理加、 <u>榎津博士</u> 、小野幸作 |

山形県議会情報公開審査会委員名簿（案）

※任期：平成30年10月1日から平成32年9月30日まで

（五十音順、敬称略）

いずみだ やすいち

和泉田 保一

国立大学法人山形大学准教授

すずき たかし

鈴木 孝

山形県議会議員

たかはし

高橋 まゆみ

日本児童文芸家協会員
(元)南陽市教育委員会委員長

たかやま かつひで

高山 克英

弁護士

よしむら かずたけ

吉村 和武

山形県議会議員

平成30年度 第2回府省との意見交換会開催計画（案）

1 開催趣旨

県政の重要課題に関し、国の制度等への反映や新たな事業施策の展開や方向性等を探るとともに、議会政策提言への適時、的確な反映をはじめとした議会審議の充実や課題解決に資することを目的として、府省等との意見交換会を開催する。

2 開催日時等

日 時 平成30年10月22日（月） 13時30分から15時30分
場 所 東京都千代田区平河町 「都道府県会館」

3 出席者

県議会 議長及び1分科会あたり5名 計16名
府 省 関係局等の幹部職員等
執行部 関係部課長等

4 開催方法

テーマ別に3分科会を開催する。

<分科会のテーマ>

第1分科会「結婚や出産、子育てなど若者の希望実現につながる働き方改革について」
（厚生労働省）

第2分科会「中小企業の生産性向上に向けた総合的な支援について」（経済産業省）

第3分科会「災害に強い道路ネットワークの整備について」（国土交通省）

5 分科会の構成

| | 議員氏名 | 備 考 |
|---------------|-------------|------------|
| 第1分科会 (5名) | 座 長 奥 山 誠 治 | 自 由 民 主 党 |
| | 関 徹 | 日本共産党山形県議団 |
| | 松 田 敏 男 | 県 政 ク ラ ブ |
| | 能 登 淳 一 | 自 由 民 主 党 |
| | 楳 津 博 士 | 自 由 民 主 党 |
| 第2分科会 (5名) | 座 長 広谷五郎左エ門 | 県 政 ク ラ ブ |
| | 鈴 木 孝 | 自 由 民 主 党 |
| | 吉 村 和 武 | 県 政 ク ラ ブ |
| | 森 田 廣 | 自 由 民 主 党 |
| | 平 弘 造 | 自 由 民 主 党 |
| 第3分科会 (5名) | 座 長 渋 間 佳寿美 | 自 由 民 主 党 |
| | 石 黒 覚 | 県 政 ク ラ ブ |
| | 森 谷 仙一郎 | 自 由 民 主 党 |
| | 伊 藤 重 成 | 自 由 民 主 党 |
| | 阿 部 信 矢 | 無 所 属 |

（議長はフリーな立場で各分科会に出席）

平成31年度 県政運営の基本的考え方（案）について

1 目的

来年度における予算編成や組織機構等の検討に先立ち、「平成31年度 県政運営の基本的考え方（案）」を示し、広く意見を聴取するもの

2 内容

別紙資料「平成31年度 県政運営の基本的考え方（案）」のとおり

（参考）

9月～10月上旬

県議会及び県民等〔パブリックコメント・市町村への照会〕から
意見聴取

10月中旬

「平成31年度 県政運営の基本的考え方」決定

平成31年度 県政運営の基本的考え方(案)

将来ビジョン「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向け、「県民総活躍」「産業イノベーション」「若者の希望実現」「健康安心社会」「県土強靱化」を県政運営の基盤として、短期アクションプランを力強く推進し、“やまがた創生”を拡大・加速していく。これにより、山形の価値を高め、県民誰もが山形らしい豊かさを実感できる県づくりを進め、東北の活性化や日本の創造に貢献していく。

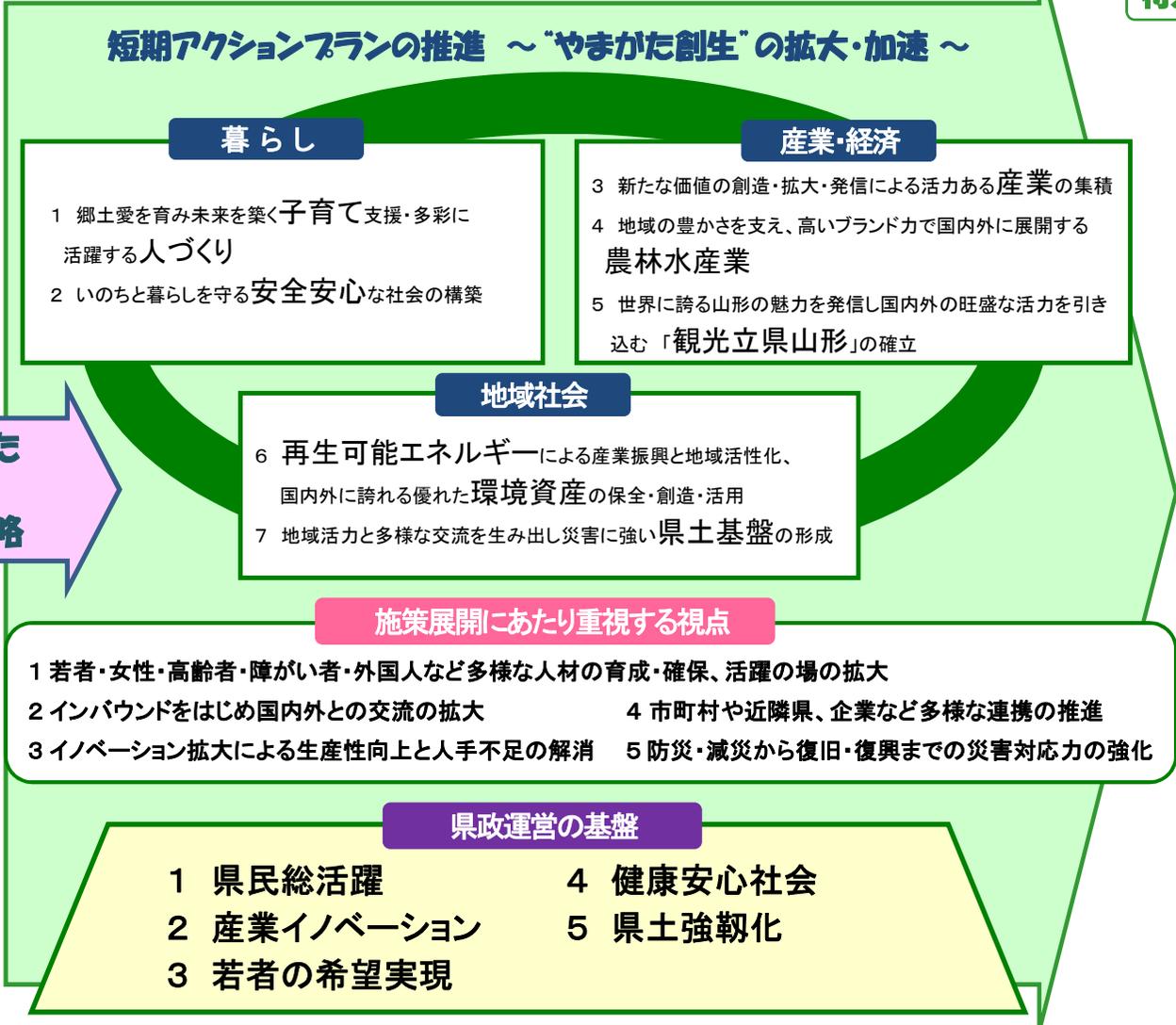
現状と課題

- 少子高齢化を伴う人口減少の加速
- あらゆる分野における人手不足の進行
- 大都市圏との格差の解消
- DC開催、インバウンド増加、外航クルーズ船・国際チャーター便の拡大などによる地域経済の活性化
- 東京オリ・パラなど国際イベント開催効果の地域波及
- 日本遺産、ユネスコ無形文化遺産などの伝承と活用、山形県総合文化芸術館の開館
- 貧困とその世代間連鎖の防止
- 生涯にわたる健康づくりの推進
- 県産品の国内外の新たな市場への展開
- 東北中央道の延伸などネットワーク強化による交流の拡大
- 暮らしや産業へのICTの活用拡大
- 市町村や民間企業との連携の推進
- 豪雨や豪雪などの自然災害への対応 など

社会経済動向

- 日EU・EPAやTPP、RCEPの進展、日米貿易協定の開始
- 間近に迫る2020年東京オリ・パラ大会の開催、近年の急速なインバウンドの増加
- 新たな外国人材の受入れ
- 東京一極集中と地方の人口減少
- 寿命の伸長による人生100年時代の到来
- 共生社会の実現に向けた取組みの拡大
- 教育負担の軽減や女性・高齢者の就業拡大促進(人づくり革命)
- 生活や産業のあらゆる場面におけるICTの導入加速(生産性革命)
- 働き方改革の本格的な展開
- 移住など地方に関心を持つ若者の増加
- 風水害や大地震など大規模災害の頻発・激甚化
- SDGs(持続可能な開発目標)への関心の高まり
- 消費税率の引上げ(2019年10月)への対応 など

やまがた創生総合戦略



将来ビジョン

自然と文明が調和した新理想郷山形

交流・イノベーションで東北活性化

未来を拓く日本の創造

施策の展開方向(案)

1 郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり

- ① 出会い・結婚・出産・子育ての希望の実現・・・結婚支援の充実強化、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備、仕事と家庭の両立支援の推進、保育人材の確保・定着、子どもの居場所づくりの推進 など
- ② 子どもの多様な力を引き出す教育の推進・・・確かな学力の育成、探究型学習の推進、郷土への誇りや愛着の醸成、グローバル化に対応した教育・キャリア教育の推進、ICTを活用した教育の推進 など
- ③ 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進・・・若者の県内就職・定着の支援、若者ミーティングの開催等による地域活動参加意欲の醸成、困難を有する若者への支援の充実、「やまがたウーマノミクス」の推進 など
- ④ 多種多様な能力発揮の促進・・・年齢や障がいの有無等を問わず誰もが活躍できる環境の整備、外国人材(就労者・留学生)の受入れと環境整備、リカレント教育の充実など生涯学習の振興 など
- ⑤ 文化・芸術、スポーツの振興・・・山形県総合文化芸術館等を活用した文化・芸術に親しむ機会の拡充、ラグビーW杯公認チームキャンプやオリ・パラ事前キャンプ等を通じた国内外との交流拡大、日本遺産などを活用した地域活性化 など

2 いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築

- ① 安心して健康で長生きできる社会の実現・・・医療提供体制の整備、医療従事者の確保・定着、「健康長寿日本一」の実現に向けた健康づくりの推進、総合的ながん対策、こころの健康づくりの推進 など
- ② 高齢者もその家族も安心して暮らせる社会の実現・・・高齢者の社会参画・就業等の支援、地域包括ケアシステムの深化・推進、介護人材の確保・定着、介護ロボットやICTを活用した福工連携の推進 など
- ③ 障がい者がいきいきと暮らせる共生社会の実現・・・障がいや障がい者に対する県民理解の拡大、バリアフリーの加速化(施設・推進員)、様々な障がい等への対応強化、障がい者雇用の促進 など
- ④ 危機管理機能の充実強化・・・頻発・激甚化する水害・土砂災害への対応力の強化、地震・津波・火山防災対策の推進、災害時の情報伝達体制の整備、地域防災力の充実・強化、安全な雪国生活の仕組みづくり など
- ⑤ 暮らしの安全・安心の確保・・・犯罪の予防・検挙の強化、交通事故防止のための取組みの強化、消費生活の安定・向上、食の安全・安心の確保 など

3 新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積

- ① 県内企業の技術革新(イノベーション)による新たな価値創出の加速・・・世界最先端分野の産業集積の加速、成長期待分野をけん引する中核企業の育成、県内企業のIoT分野への参入促進 など
- ② 中小企業等の稼ぐ力の維持・強化・・・経営力強化に向けたトータルサポート体制の充実、創業や事業承継支援の強化、小規模事業者の持続化支援の強化、イノベーションの創出促進による生産性の向上 など
- ③ 県産品の販路拡大・・・「メイドイン山形」のブランドの普及・向上のための情報発信、伝統工芸の新しい連携・販売プロモーションなどによる地場産業の振興、デザインを活かした魅力的な製品開発の促進 など
- ④ 本県産業の海外展開力の強化・・・輸出に取り組む企業の育成、工業製品・農産物・工芸品・県産酒など海外市場に応じた県産品の輸出定番化の促進、酒田港を活用した国際物流の推進 など
- ⑤ 産業人材の確保・育成と働き方改革の推進・・・若者の県内定着・回帰の促進と人材の確保・育成による人手不足の解消、県独自の奨励金等による正社員化・所得向上の促進、多様で柔軟な働き方の普及促進 など

4 地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業

- ① 多様な人材が活躍できる農業経営の実現・・・専門職大学の検討など変化する人材ニーズへの積極的な対応、地域農業を支える多様な人材(新規就農者・女性など)の確保、競争力の高い経営体の育成、中山間地域農業の振興 など
- ② 水田農業の収益性の向上・・・付加価値を生み出す県産米のブランド化の推進、需要に応じた米生産の推進、ICT等を活用した生産・経営の効率化の推進、低コスト化に向けた生産基盤の整備 など
- ③ 「園芸大国やまがた」の実現・・・園芸大国に向けた研究機能の強化、さくらんぼ等のブランド力の強化と次世代につながる果樹産地づくり、野菜・花きのブランド力強化と生産拡大、大規模園芸団地の形成、ICT等活用の推進 など
- ④ 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進・・・輸出の促進と国内主要都市における販路拡大、6次産業化の拡大、山形ブランドの創出・定着、安全・安心な農産物の生産の推進 など
- ⑤ 畜産業の競争力強化・・・地域ぐるみでの畜産生産基盤の強化、山形生まれ山形育ちの和牛増産、県産畜産物の品質向上によるブランド力強化、耕畜連携による県産飼料の生産・利用拡大 など
- ⑥ 「やまがた森林ノミクス」の推進・・・新たな森林管理システムに対応した人材育成・体制整備、計画的な伐採・再造林の推進、林工連携の推進、県産木材の安定供給・利用拡大、山菜・きのこ類のブランド化 など
- ⑦ 水産業のさらなる振興・・・漁業就業者の育成・確保、ブランド化や加工利用による県産水産物の付加価値向上、庄内浜産水産物の消費拡大、内水面漁業の振興、漁業生産基盤の維持・確保 など

5 世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立

- ① 全ての人が快適に旅行できる環境の整備・・・外国人や高齢者等のニーズを踏まえた受入態勢の整備、インバウンド等に対応した二次交通など交通ネットワークの充実や交通基盤の強化による交流拡大 など
- ② 観光資源の高付加価値化と戦略的誘客の強化・・・美食・美酒と日本遺産などの文化資源・雪や滝などの自然資源の組み合わせ等による付加価値の向上と魅力あるツーリズムの展開、ターゲットを明確化した効果的な情報発信・戦略的誘客 など
- ③ 観光産業の競争力強化・・・観光産業のマーケティングやマネジメント機能の強化による「稼ぐ観光」の推進、観光産業人材の育成・確保、オリ・パラなど国内外との交流拡大を見据えた観光産業の基盤強化 など
- ④ インバウンド推進による交流人口の拡大・・・海外からのアクセス向上や近隣県と連携した広域周遊ルートの開発等による海外誘客の強化、アウトバウンドの拡大を含めた海外との相互交流の促進 など

6 再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用

- ① 再生可能エネルギーの導入促進と省エネルギーの推進・・・風力、中小水力、バイオマス等の発電事業の展開促進、災害時のエネルギー確保も視野に入れた地域分散型エネルギーの導入促進、家庭等の省エネの促進 など
- ② 国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用・・・森林環境づくりの推進、水資源や山岳資源の保全・活用の推進、循環型社会の構築、野生鳥獣管理の推進、海岸漂着物対策の推進、環境教育の推進 など

7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

- ① 国内外との交流を拡大する広域交通ネットワークの整備促進・・・高速道路等の整備促進、空港・港湾の機能強化、奥羽・羽越新幹線の早期実現に向けた取組みの推進、オリ・パラ後を見据えた戦略的なネットワーク形成 など
- ② 新たな社会資本としてのICTの利活用拡大・・・産業や暮らしのあらゆる分野でのICTの普及・活用促進、県内におけるICT実証事業の展開 など
- ③ 地域の特性を活かし豊かさを実感できる圏域の形成・・・住民主体の地域づくりの推進、市町村との連携の加速、近隣県・民間企業等との連携推進、活力ある都市の形成、中山間地域や離島などの振興、空き家を含む総合的な住宅対策の推進、本県への移住・定住の拡大、雪の魅力の活用や技術開発による快適な雪国づくり など
- ④ 県民の生活を支える社会資本の整備・機能強化・・・集中豪雨・豪雪等の自然災害に対する防災・減災の推進、災害時のライフライン安定確保対策の推進、地域交通ネットワークの充実、社会資本の長寿化 など